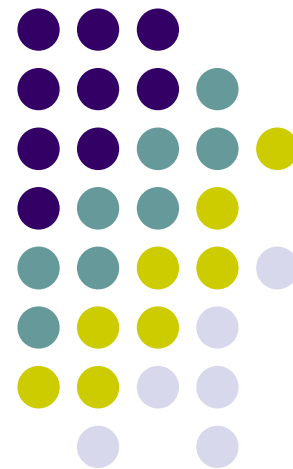


緩和ケアって何？

～病気に伴う心と体の痛みを和らげること～



箕面市立病院 がん診療推進部

緩和ケア認定看護師

加藤理香



皆さんが持つ 緩和ケアのイメージって？

終末期のケア？
亡くなりゆく人へのケア？

なにも治療しないっ
てこと？
自然療法？

症状緩和？
痛みや息苦しさが
ある人へのケア？



こころのケア？

本日の内容



- 緩和ケアに関する国の施策
- 緩和ケアってなに？
- 当院の緩和ケアチームの活動について

日本の現状



- 1981年よりがん死亡が1位
- 2人に1人ががんになる
- 3人に1人ががんで亡くなる
- 1976年までは自宅で亡くなる人多かった
- 今は約80%の方が病院で亡くなる

死因

※年間の死亡者数約130万人（2018年）

- がん 37.3万人 27.4%
- 心疾患 20.8万人 15.3%
- 老衰 10.9万人 8%
- 脳血管疾患 10.8万人 7.9%
- 肺炎 9.4万人 6.9%
- その他(不慮の事故・自殺など)

死亡場所(2015年)

- 病院 77%
- 自宅 13%
- 介護老人保険施設・老人ホーム 9%

がん対策推進基本計画 (平成19年6月閣議決定)

重点的に取り組むべき課題

(1)放射線療法・化学療法の推進、
これらを専門的に行う医師等の育成

(2) 治療の初期段階からの
緩和ケアの実施

(3)がん登録の推進

全体目標【10年以内】

がんによる死亡者の減少
(75歳未満の年齢調整死亡率の20%減少)

全てのがん患者及びその家族の
苦痛の軽減並びに療養生活の質の向上

分野別施策及びその成果や達成度を計るための個別目標

1. がん医療

①放射線療法及び化学療法推進並びに医療従事者の育成
②緩和ケア ③在宅医療 ④診療ガイドラインの作成 ⑤その他

☆ すべての拠点病院において、放射線療法及び外来化学療法を
実施【5年以内】

☆ すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアに
ついての基本的な知識を習得【10年以内(運用上5年以内)】

2. 医療機関の整備等

☆ すべての2次医療圏
において、概ね1箇所程
度拠点病院を設置
【3年以内】

☆ 5大がんに関する地
域連携クリティカルパス
を整備【5年以内】

3. がん医療に関する相談支援及び情報提供

☆ すべての2次医療
圏において、相談支
援センターを概ね1
箇所以上整備
【3年以内】

4. がん登録

☆ 院内がん登録を実施
している医療機関を増加

5. がんの予防

☆ 未成年者の喫煙率を
0%とする【3年以内】

6. がんの早期発見

☆ がん検診の受診率について、
50%以上とする【5年以内】

7. がん研究

☆ がん対策に資する
研究をより一層推進

第2期がん対策推進基本計画

(平成24年6月)

重点的に取り組むべき課題

(1)放射線療法、化学療法、手術療法の更なる充実とこれらを専門的に行う医療従事者の育成

(2) がんと診断された時からの緩和ケアの推進

(3)がん登録の推進

新(4)働く世代や小児へのがん対策の充実

全体目標【平成19年度からの10年目標】

(1) がんによる死亡者の減少
(75歳未満の年齢調整死亡率の20%減少)

(2) すべてのがん患者とその家族の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上

新(3) がんになっても安心して暮らせる社会の構築

分野別施策及びその成果や達成度を計るための個別目標

1. がん医療

- ①放射線療法、化学療法、手術療法のさらなる充実とチーム医療の推進
- ②がん医療に携わる専門的な医療従事者の育成
- ③がんと診断された時からの緩和ケアの推進
- ④地域の医療・介護サービス提供体制の構築
- 新**⑤医薬品・医療機器の早期開発・承認等に向けた取組
- ⑥その他(希少がん、病理診断、リハビリテーション)

2. がんに関する相談支援と情報提供

患者とその家族の悩みや不安を汲み上げ、患者とその家族にとってより活用しやすい相談支援体制を実現する。

3. がん登録

法的位置づけの検討も含め、効率的な予後調査体制の構築や院内がん登録を実施する医療機関数の増加を通じて、がん登録の精度を向上させる。

4. がんの予防

平成34年度までに、成人喫煙率を12%、未成年の喫煙率を0%、受動喫煙については、行政機関及び医療機関は0%、家庭は3%、飲食店は15%、職場は平成32年までに受動喫煙の無い職場を実現する。

5. がんの早期発見

がん検診の受診率を5年以内に50%(胃、肺、大腸は当面40%)を達成する。

6. がん研究

がん対策に資する研究をより一層推進する。2年以内に、関係省庁が連携して、がん研究の今後の方向性と、各分野の具体的な研究事項等を明示する新たな総合的がん研究戦略を策定する。

新 7. 小児がん

5年以内に、小児がん拠点病院を整備し、小児がんの中核的な機関の整備を開始する。

新 8. がんの教育・普及啓発

子どもに対するがん教育のあり方を検討し、健康教育の中でがん教育を推進する。

新 9. がん患者の就労を含めた社会的な問題

就労に関するニーズや課題を明らかにした上で、職場における理解の促進、相談支援体制の充実を通じて、がんになっても安心して働き暮らせる社会の構築を目指す。

第3期がん対策推進基本計画(概要)

第1 全体目標

「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す。」

①科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 ②患者本位のがん医療の実現 ③尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

第2 分野別施策

1. がん予防

(1)がんの1次予防(※)

(2)がんの早期発見、がん検診
(2次予防)

(※)受動喫煙に関する目標値等
については、受動喫煙対策
に係る法案を踏まえて別途
閣議決定する予定。

2. がん医療の充実

- (1)がんゲノム医療
- (2)がんの手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法
- (3)チーム医療
- (4)がんのリハビリテーション
- (5)支持療法
- (6)希少がん、難治性がん
(それぞれのがんの特性に
応じた対策)
- (7)小児がん、AYA(※)世代のがん、高齢者のがん
(※)Adolescent and Young Adult: 思春期と若年成人
- (8)病理診断
- (9)がん登録
- (10)医薬品・医療機器の早期開発・承認等に向けた取組

3. がんとの共生

- (1)がんと診断された時からの緩和ケア
- (2)相談支援、情報提供
- (3)社会連携に基づくがん対策・がん患者支援
- (4)がん患者等の就労を含めた社会的な問題
- (5)ライフステージに応じたがん対策

4. これらを支える基盤の整備

- (1)がん研究
- (2)人材育成
- (3)がん教育、普及啓発

第3 がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

- 1. 関係者等の連携協力の更なる強化
- 2. 都道府県による計画の策定
- 3. がん患者を含めた国民の努力
- 4. 患者団体等との協力
- 5. 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化
- 6. 目標の達成状況の把握
- 7. 基本計画の見直し

本日の内容



- 緩和ケアに関する国の施策
- 緩和ケアってなに？
- 当院の緩和ケアチームの活動について

WHOによる緩和ケアの定義



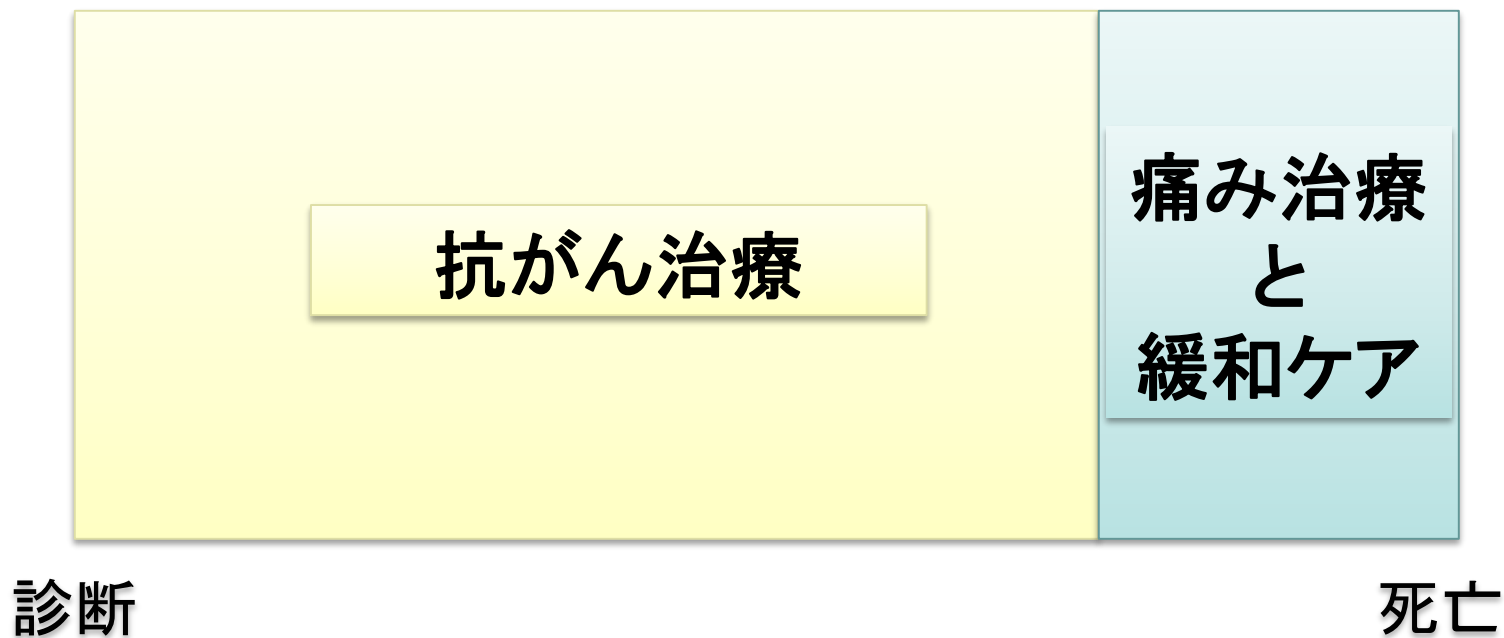
緩和ケアとは、**生命にかかわる疾患**に関連する問題に直面している**患者と家族のQOL(生命、生活、人生、生きがい)**を、**向上**させるアプローチである。

痛みや身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな問題の早期の発見、適切な評価や対応により、苦痛を予防・緩和する。

*Palliative care is an approach that **improves the quality of life of patients and their families facing** the problem associated with life-threatening illness, through the prevention and relief of suffering by means of **early** identification and impeccable assessment and treatment of pain and other problems, physical, psychosocial and spiritual.*



ホスピス・緩和ケア 従来の考え方



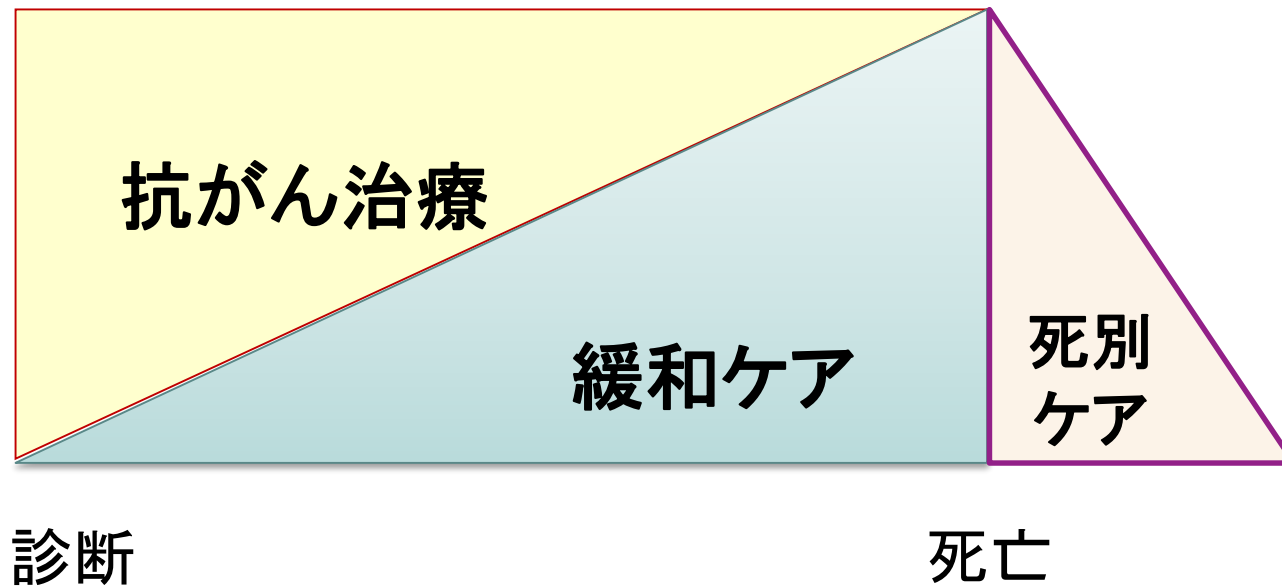
(世界保健機関, 1990)

緩和ケア(WHO, 2002)



例) がん医療の場合

(Sepulveda C et al., 2002)



がんと診断されたとき……



なんで、私のがんに？…

抗がん剤も、
手術も初めてで
よくわからない…

頭が真っ白…

仕事を辞めないと
いけないのかな

がんって、
痛みがでるのかしら
これからどうなるの？

一人暮らしだけど
治療続けられる
かしら

今までも体調には気
を付けてきたのに…

何かの間違い
じゃないか

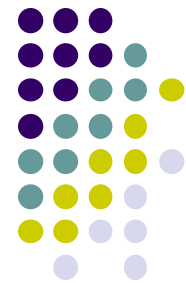
こどもや親の世話
家族のことが心配

がん=死んで
しまうの？

がんの治療を
するのにお金が
かかる



がんと診断されたとき……



なんで、私のがんに？…

今までも体調には気を付けてきたのに…

抗がん剤も、手術も初めてでよくわからない…

何かの間違いじゃないか

頭が真っ白…

人それぞれに
さまざまなつらさを
抱えます

仕事もや親の世話もすることが心配

仕事を辞めないといけないのかな

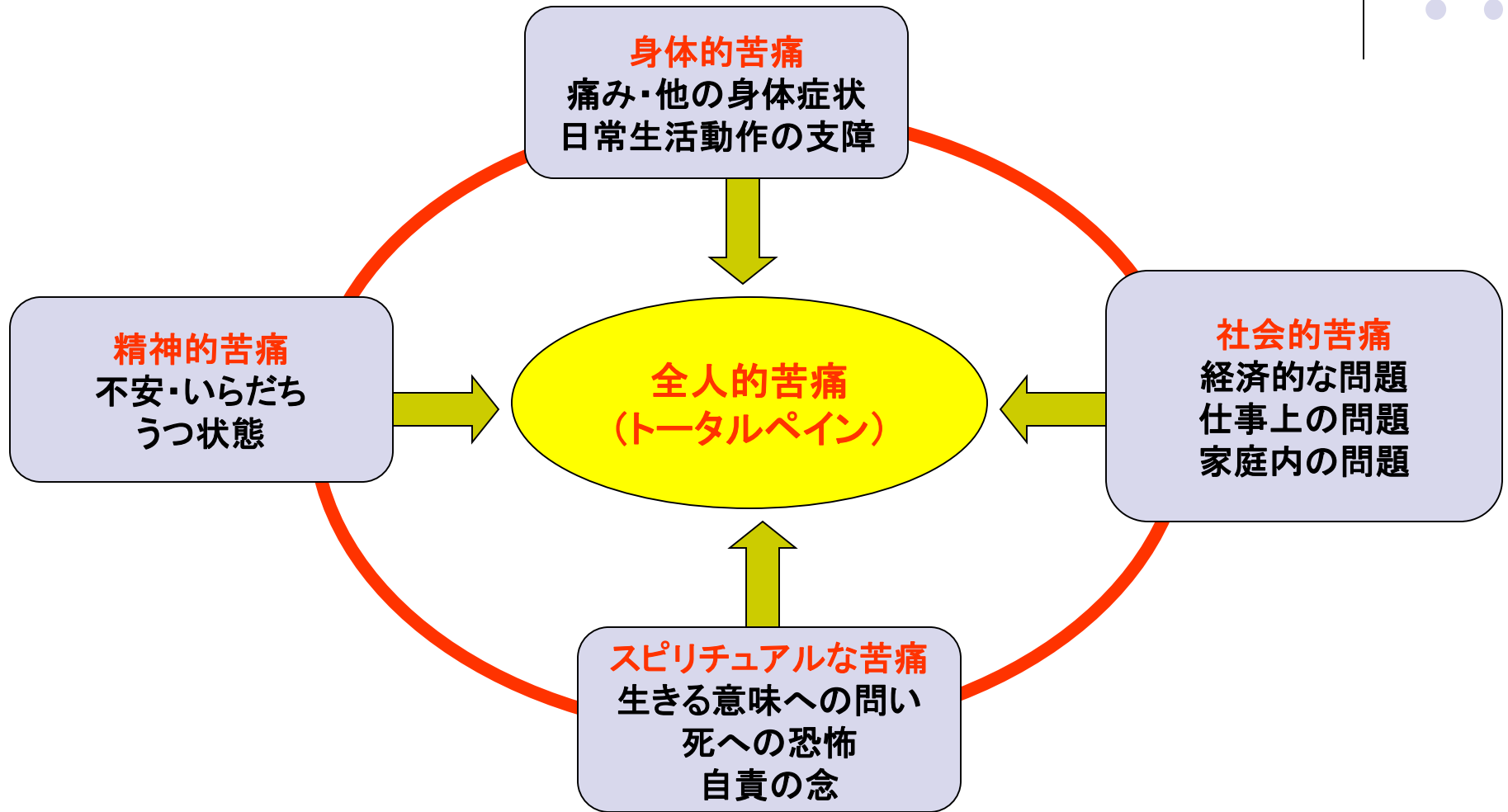
がん=死んでしまうの？

がんって、痛みがでるのかしらこれからどうなるの？

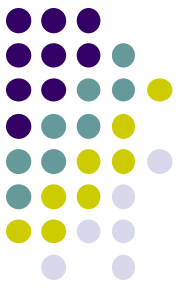
一人暮らしかけど治療続けられるかしら

がんの治療をするのにお金がかかる

がん患者さんの苦痛＝全人的苦痛



つらいのは身体だけではないのです



スピリチュアルペインの例

- 「なぜ私がこんな病気になったのか」
- 「私の人生はなんだったのか」
- 「なぜ私がこんなに苦しい思いをしないといけないのか」
- 「人に迷惑をかけて生きていたくない」
- 「何の役にも立たない。生きている価値がない」
- 「こんなことになったのは、罰があたったからだ」
- 「死んだら何も残らない」
- 「孤独だ。自分一人取り残された感じだ」

家族やまわりの
人のあたたかさ

希望・役割

自分らしく
あること

自分らしくあるために・・・



人それぞれで違うQOL (Quality of Life) の考え方
Lifeの意味は、生活、人生、命、生きがい

苦痛がないこと

痛みがあるのは
イヤだ

望んだ場所で
過ごすこと

住み慣れた家で
過ごしたいな

他者の負担に
ならないこと

子どもたちに迷惑を
かけたくないわ

自尊心を保つこと

子ども
扱いされる
なんて・・・

残された時間を知り、
準備すること

身の回りの
整理をして
おきたいの

役割を
果たせること

妻・母として
最期まで
生きたいわ



Aさん

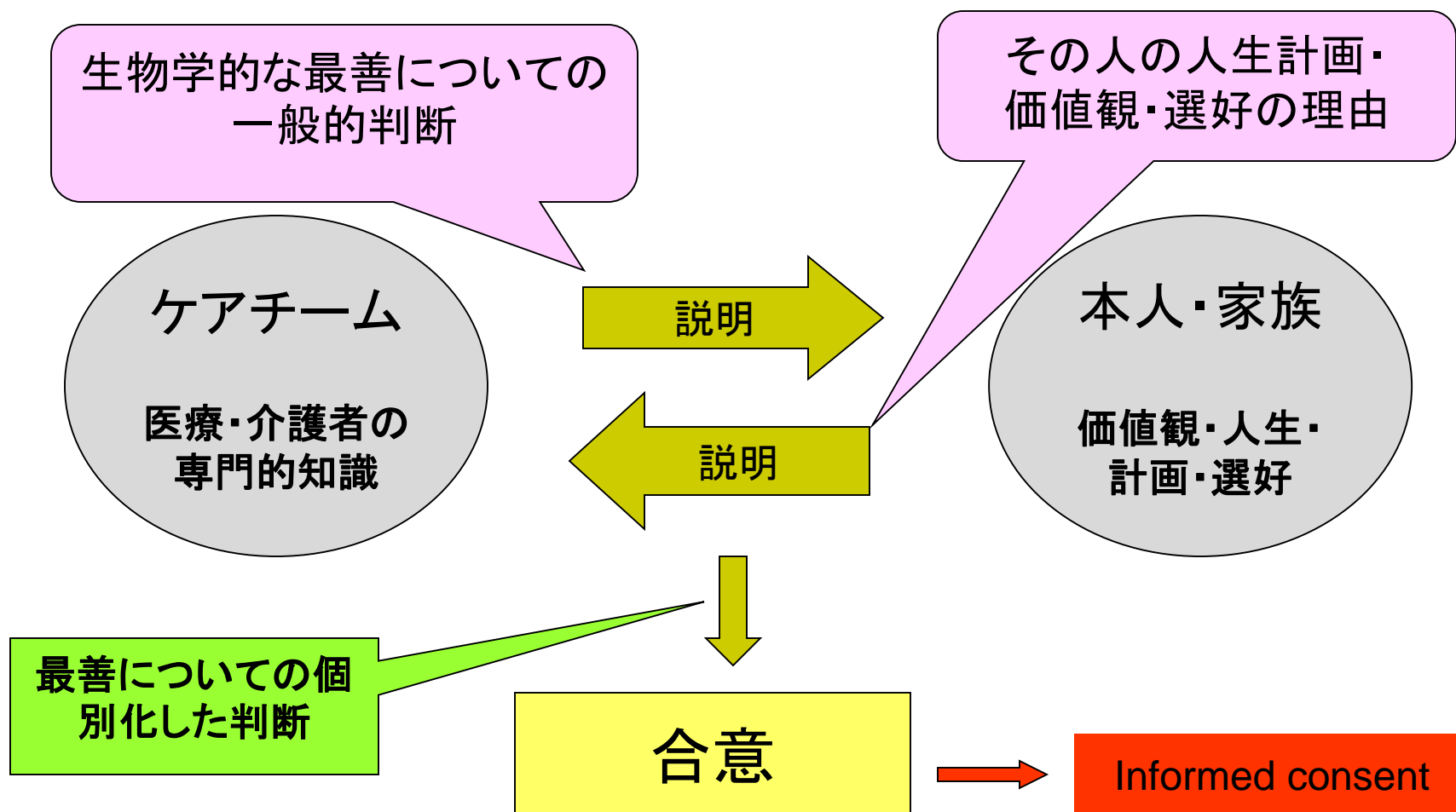


Bさん

治療や療養の意志決定のプロセス



● 情報提供から合意へ



治療や療養の意志決定のプロセス



あなたは大腸がんのstageⅢです。
治療は手術と半年間の抗がん剤治療をした方が良いでしょう。

12月に娘の結婚式を控えています。
治療の影響はどうでしょうか。しんどいのでしょうか。あまりにしんどいなら、抗がん剤はしたくないです。家族と家でゆっくり過ごしたいんです。



ケアチーム

医療・介護者の知識

説明

説明

本人・家族

価値観・人生・
計画・選好

結婚式の予定を考えて、
化学療法の日程を相談しましょう。
副作用対策はしっかりします。
どうしてもつらいということであれば、
お薬を減量したり、中止することもできます。

合意

Informed consent



WHOによる緩和ケアの定義



緩和ケアとは、生命にかかわる疾患に関連する問題に直面している患者と家族のQOL(生命、生活、人生、生きがい)を、向上させるアプローチである。

痛みや身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな問題の早期の発見、適切な評価や対応により、苦痛を予防・緩和する。

*Palliative care is an approach that **improves the quality of life of patients and their families facing** the problem associated with life-threatening illness, through the prevention and relief of suffering by means of **early** identification and impeccable assessment and treatment of pain and other problems, physical, psychosocial and spiritual.*

家族もトータルペインを感じている



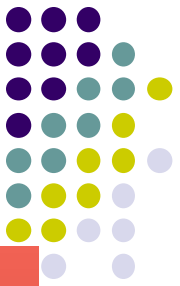
- 家族も悩んでいる。
- 家族は仕事や家事などの役割を持ちながら、患者とともに病気や治療に立ち向かう人。
- 患者の精神的サポートする人
- 複雑な家族背景、家族の形は多様化している。
- 特に、がん診断後、終末期には家族への配慮が必要。



「お疲れではないですか？眠れていますか？」
「今、ご心配なことは？」
「患者さんを見ていて、気になることがありますか？」
「奥様がつらい気持ちをはき出せる場所がありますか？」

緩和ケアは、家族へのケアも大切にします！

緩和ケア普及啓発ポスター



緩和ケアとは、病気に伴う心と体の痛みを和らげること。

気持ちを誰かに 伝えた時から、 よりよい治療が始まります。

いつでもどこでも、主治医や看護師に、お話しください。

なんとなく不安です

からだが痛いです

気持ちが悪いです

緩和ケア
緩和ケア

がん診療に携わる医師及び看護師を対象とした「緩和ケア研究会」の協賛バッジです。

痛み、つらさ、 キヤッチ しないのは、 レッドカード!

緩和ケアとは、
病気に伴う
心と体の痛みを
和らげること。

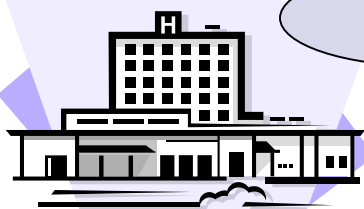
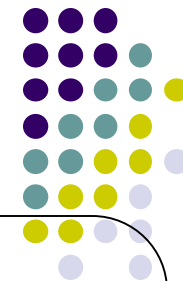
厚生労働省ではがん診療に携わる全ての医師及び看護師が受領しなければならない「緩和ケア研究会」の協賛バッジ及び協賛医師に、お話しください。患者さんやご家族に分かりやすいように、緩和ケア研究会協賛バッジを使用するようにしています。

このバッジは、厚生労働省と「緩和ケア研究会」が共同で開発したものであり、がん診療に携わる医師及び看護師を対象とした「緩和ケア研究会」の協賛バッジです。

患者・家族用

医療者用

緩和ケアを提供する場所



病院

がん診療とともにある緩和ケア

がん拠点病院には緩和ケアチームを作り、患者のトータルペインへの対応をすることが求められている。

がん診断時からの緩和ケアがもとめられ、早期につらさを和らげることが期待されている。



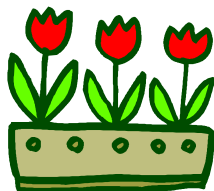
在宅

住み慣れた家で家族とともに過ごしながらかける緩和ケア

緩和ケアができる訪問診療医や訪問看護、介護保険を利用したヘルパーなどのサポートを受けながら過ごす



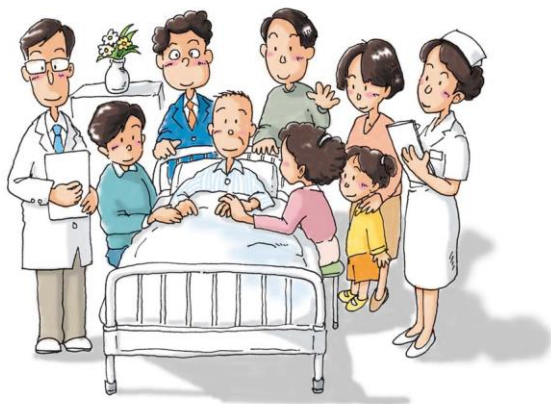
ホスピス



人的、環境面など専門性の高い緩和ケア

ホスピスは大阪で29病院にあります。
箕面市立病院近隣では4病院159床

地域連携



どうしたら私らしく過ごせるのか
患者さまが望む場所で豊かな人生が送れるように、
どこで、どのように緩和ケアを受けたら良いのかを
一緒に考えていくことも医療者の大切な役割です。

箕面市立病院だけでなく、患者さまの状態や希望に合わせて、
地域連携で患者さま・ご家族の緩和ケアを支援します

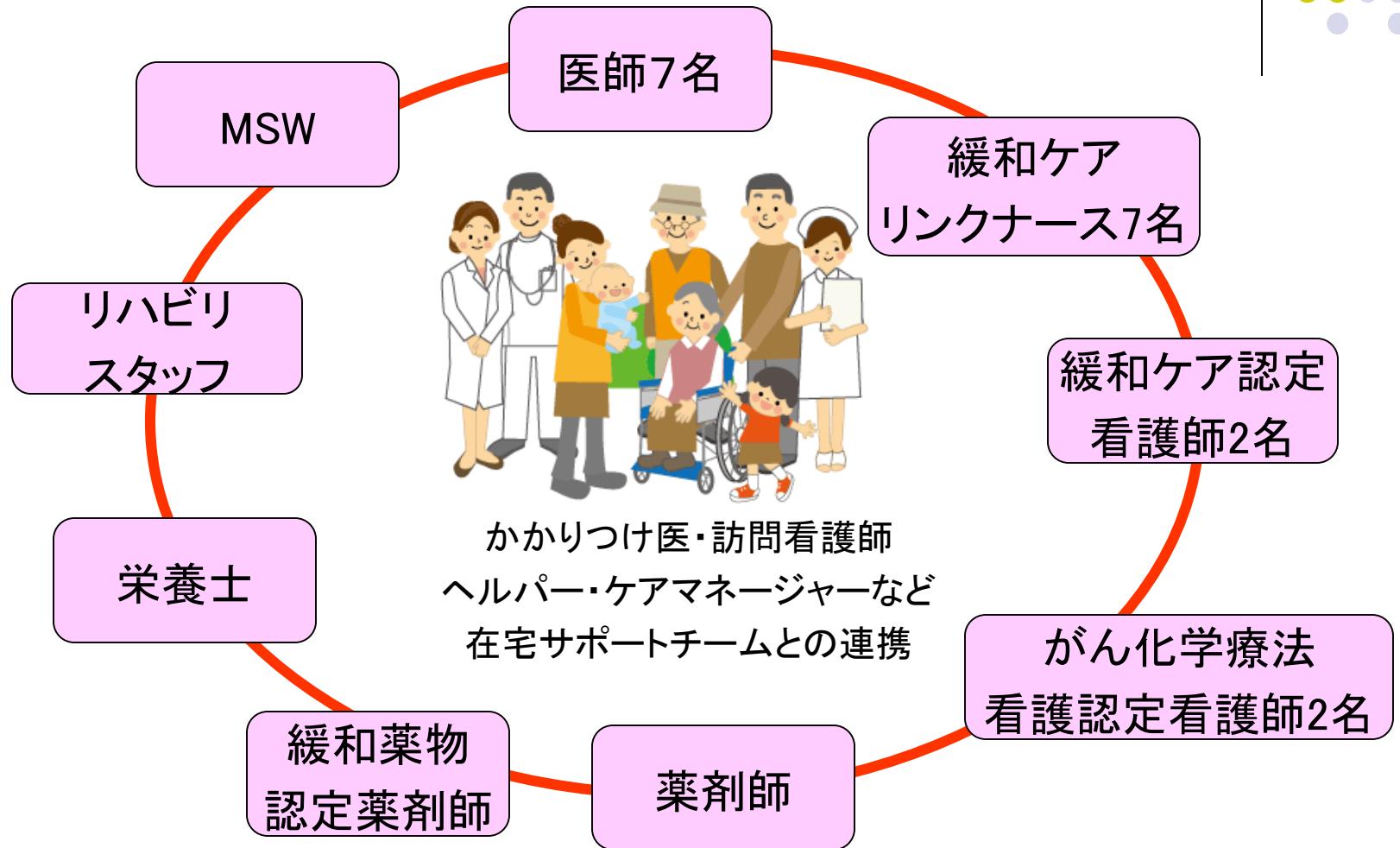


本日の内容



- 緩和ケアに関する国の施策
- 緩和ケアってなに？
- 当院の緩和ケアチームの活動について

緩和ケアチームメンバー



治療の主体は主治医です。

直接ケアを担う看護師さんとの緩和ケアチームが連携します

緩和ケアチーム活動



1. 患者さまの様々なつらさへのケアをチームで検討
2. 緩和ケアチームの定期的な回診とケア
3. がん相談室の活動
4. 「がんサロンゆず」偶数月第4金曜日
5. 医療者に向けての緩和ケア教育
6. 緩和ケアマニュアルの整備



がん相談室



当院では、がん患者さまやご家族さまの不安・疑問について相談できる「がん相談室」を設置しております

専門の看護師が、治療のことだけでなく、生活・療養のことも含め、さまざまな心配事に対し、情報提供しサポートできる体制をとっています

箕面がんサロンゆず

30分間のミニレクチャーと
患者さん・ご家族同士の語りの場

サロンの雰囲気

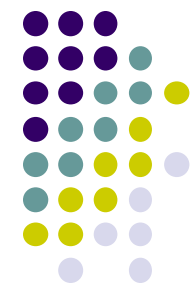
お茶を飲んだり、お菓子を食べたりしながら話したり、聞いたり…。



12月のサロン風景

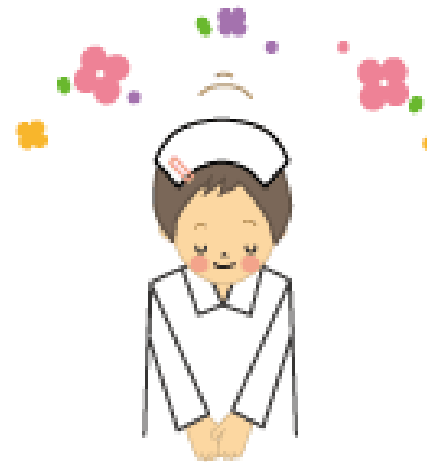
ハンドベルとクリスマスソング





緩和ケアはチームケアです！ 患者さんの様々なつらさにチームで応えます！





ご静聴ありがとうございました。